

整理番号	K2002	製品名	TOCW-T7, TOCW-T7-25
作成改訂日	2026年7月13日	会社名	トラスコ中山株式会社

安全データシート(SDS)

1 化学品及び会社情報

製品の名称 : TRUSCO オイルキャッチャー 天然繊維 チューブタイプ
製品の品番 : TOCW-T7, TOCW-T7-25
整理番号 : K2002
推奨用途、特長 : 水油両用吸着材
会社名 : トラスコ中山株式会社
住所 : 〒105-0004 東京都港区新橋4丁目28番1号
担当部門 : 東京商品部 PB品質保証課
発行連絡先 : お客様相談室宛
電話 : 0120-509-849
FAX : 0120-509-839

2 危険有害性の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない
危険性 : 可燃性
有害性 : なし

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 : 植物性天然繊維主体
成分及び含有量(wt%) : 非公開

4 応急措置

吸入した場合 : 水でよく洗浄する。
皮膚に付着した場合 : 水でよく洗浄する。
目に入った場合 : こすらずに水でよく洗眼する。刺激があれば医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗浄する。

5 火災時の措置

消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、ガス消火剤
消火方法 : 付近の着火源を絶ち、消火剤を使用して消火する。
消火を行う者の保護 : 適切な保護具(耐熱性着衣)を着用する。

6 漏出時の措置

除去方法 : 飛散したものを集めて、空容器に回収する。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 液体以外の用途には使用しない。
熱を加える等の加工をしない。
酸化剤や分解剤等と混合したり、接触するのを避ける。
使用した本品は速やかに回収する。
状況によっては保護メガネ、保護マスクを使用する。

整理番号	K2002	製品名	TOCW-T7, TOCW-T7-25
作成改訂日	2026年7月13日	会社名	トラスコ中山株式会社

保管 : 高温多湿を避け、常温で直射日光を遮断できる室内に保管する。
酸化剤や分解剤と混ぜて積んだり、近くに保管しない。
厨房器具等の火気の傍に保管しない。
その他、消防法・労働安全衛生法の法令に従う。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 飛散しやすい場所には、防塵装置付き局所排気設備を設置することが望ましい。

保護具 : 通常の取扱い条件においては、特に必要なし。

9 物理的及び化学的性質

形状・外観等 : チューブ状・ポリプロピレン袋入り
色 : 黄褐色
主成分の熱の影響 : 120℃・5時間で黄変、150℃で分解
耐油性 : 著しい溶解、脆化が認められない
引火点 : データなし
発火点 : データなし
酸化性 : 常温では安定である

10 安定性及び反応性

安定性/反応性 : 通常の取扱い条件においては安定
自己反応性/爆発性 : 通常の保管や使用状態では爆発の危険性はないが、可燃性であるため、吸油または吸水させた場
その液体の性状に合わせた処理を行う。
その他 : 動植物の油等は余熱があるままに大量に蓄積すると酸化発熱作用が促進し、自然発火の危険があ
また、引火性の高い液体を吸着させる場合は、静電気・スパークなどの着火源が生じないようにする

11 有害性情報

急性毒性 : データなし
(構成成分より推定して刺激性は低いと考えられる)
慢性毒性 : データなし
(構成成分より推定して刺激性は低いと考えられる)
皮膚腐食性 : なし
皮膚刺激性 : データなし
(構成成分より推定して刺激性は低いと考えられる)

12 環境影響情報

: 著しい性状の変化は認められない。

13 廃棄上の注意

: 液体を吸着させた後は、その性状に合わせた処理方法および自治体の指示に従って処分する。
なお、シート素材自体の焼却によるダイオキシン・有害ガスの発生はありません。

整理番号	K2002	製品名	TOCW-T7, TOCW-T7-25
作成改訂日	2026年7月13日	会社名	トラスコ中山株式会社

14 輸送上の注意

： 直射日光をなるべく避け、濡れないように輸送する。
酸化剤や分解剤との混載は避ける。

15 適用法令

【 化学物質管理促進法（PRTR法）】

： 該当せず（組成および性状より判定）

【 毒物及び劇物指定令に関する政令及び毒物及び劇物取締施行規則に関する省令 】

： 該当せず

16 その他の情報

製造会社名 ： カクイ株式会社
 JIS Z 7253(2019)

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。この情報は新しい情報を入手した場合、追加又は改訂されることがあります。又、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特別な取扱いをする場合には、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。